

つながりの中でくらす
望まれた人として生きる
自分らしく生きていく



No.

86

2025 年 11 月発行

長い長い夏が終わったと思ったら、急に気温が下がって、秋が深まりました。日本列島は、北海道は冬、沖縄は夏と、大きな気温差になっているようです。大阪では、体調を崩している人も多く、インフルエンザが猛威を振るっています。

楽童ほうぷでは、11月上旬にスタッフの多くがインフルエンザに感染してしまいました。利用者のご家族からも子どもさんの感染の連絡が入りました。3日間の閉所を決断しました。皆さまに本当にご迷惑をおかけしました。大変申し訳ございませんでした。

10月下旬、職員は感染症の研修会を実施したばかりでした。感染症にしっかり対応して予防していこうと話し合い、楽童ほうぷのお便りにも書いたのですが、防ぐことができませんでした。ほうぷは常時換気の設計に加えて、窓を開けて換気を行っています。毎朝、プレイルームは丁寧に拭き掃除を行い、トイレは床も壁も拭き掃除をして消毒しています。そんな日々のルーティンに安心してしまっていたのかもしれない。

その日、体調の悪い子がいたわけでもなかったのです。それなのに、その翌日の深夜から次の日にかけて、スタッフが次々発熱。私も高熱が出て、頭痛や嘔吐の症状も加わり3日間も寝込んでしまいました。コロナ以前は予防接種をしていたのですが、最近はしていませんでした。油断があったと思います。スタッフで振り返り、今後の対応について話し合いました。日々のおやつやクッキングの時など、手洗いの徹底や、テーブルやついたての消毒を継続してしっかり行っていくこと、感染症流行時にはスタッフはマスクを着用し、活動内容の見直しも行うことなど、確認しあいました。

改めて、マニュアルも見直し気を引き締めていきたいと思います。今回の会報に、事業所の自己評価を掲載していますが、同様のことを感じました。日々、頑張っ取り組んだり、きちんとしていたつもりだったりしても、日々のルーティンの中で気のゆるみがあったり、漫然と行っていたりがあると思いました。日々の気づきを大切にして、そのたびに職員で話し合いながらすすんでいきたいと思います。

(地域生活サポートネットほうぷ 向井裕子)



2025 年度 放課後等デイサービス 自己評価

(別紙 3)

公表	放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表
----	--------------------------

○事業所名	びくどう 楽童ほうぶ		
○保護者評価実施期間	2025年 9月 22日 ～ 2025年 10月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	2025年 10月 14日 ～ 2025年 10月 23日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 11月 4日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	全てのチェック項目において、7割以上の方が「はい」を選択してくださり、バランスがとれた支援を行っているとの評価をいただいた。特に「保護者への説明等」「満足度」は平均8割以上の方が「はい」を選択してくださり、高い評価をいただいた。職員のミーティングや保護者への説明を丁寧に行っている。	子どもの社会性や自主性を育み、ソーシャルスキルやライフスキルを習得できるよう取り組んでいる。特色として、地域の方々と交流したり体験を広げたりする活動や、選択や決定の機会を意図的につくっている。地域自立支援協議会、地域活動協議会等への参加をしたり、学校と情報を共有したりして、地域連携に努めている。	保護者とのコミュニケーションをより丁寧に行い、信頼関係を築いていく。保護者と子ども、それぞれのニーズを踏まえて、子どもの最善の利益を大切に支援していく。
2	個別支援計画の作成において、保護者への聞き取りと子どもへのアンケート（聞き取り）を行い、職員で話し合いながら案を作成している。計画作成後は、保護者に説明を丁寧に行っている。	個別支援計画作成の際に、保護者面談を丁寧に行い、子どもの思いも聞き取り、計画作成にあたっては、職員ミーティングで意見を出し合っている。	個別支援計画作成においては、現在の取り組みを継続していく。個別支援計画の内容に沿った支援が行えるよう、職員間で計画内容を共有して、子どもへの対応をしていく。
3	環境整備（生活空間が清潔で心地よく過ごせる工夫がされて、子どもの活動に合わせた空間となっている。	放デイを運営するために設計しているので、子どもが楽しく安全に過ごせる工夫がしてある。音に敏感な子どもに配慮して天井に吸音効果のある材料を使ったり、クールダウンができるよう隠れ家的な場所をつくったりして、子どもが居心地よく過ごせる工夫をしている。	子どもの活動に合わせた空間となるよう、パーティションの利用や視覚支援等、更に改善をしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の配置（職員体制）を強化していく必要がある。	基本の職員配置に加えてパートを2名以上配置しているが、各々の「やりたい」気持ちを大切に、手厚い対応をしているため、職員配置が十分でない状況となっている。個別サポート加算（Ⅰ）がついていない児童に対しても、職員が個別にサポートしているケースが少なくない。	子どもの主体性を育むための支援の質を低下させないために、有資格者の求人を行っていく。
2	「子どものことを十分に理解し、子どもの特性に応じた専門性のある支援が受けられていると思うか」の質問に、「はい」と答えた方が7割にとどまった。	職員は研修やミーティングを重ね、子どもに応じた丁寧な支援を行ってきたつもりであったが、保護者の期待に十分に応えられていなかった。一方で、自由度の高い遊びの時間を多く取って子どもの自主性を育んだり、子ども同士のかかわりの中から社会性を育んだりしようとしているため、目に見える成果がわかりにくいこともある。	職員研修をより充実させ、職員ミーティングでも子ども理解の共有や支援内容の話し合いを増やし、パートの職員も含めて、支援の質を向上させる。 保護者とコミュニケーションを取り、当事業所の目指していることを伝え、より信頼関係を築いていけるように努める。
3	非常時等の対応や避難訓練の内容が保護者に十分に伝わっていない。	活動の様子を毎月の便りに写真入りで報告しているが、具体的な活動内容を伝えることができていないため、避難訓練の詳細が伝わっていない。 マニュアルを玄関に設置して、自由に読めるようにしているが、保護者にあまり知られていない。	避難訓練などの活動内容をさらに詳しく報告していく。また、報告だけでなく、計画もお知らせしていく。 防災に対してだけでなく、防犯に対する取り組みも充実させていく。

* 楽童ほうぶでは、前年度まで自己評価をグラフにして分析・評価してきたが、今年度より、放課後等デイサービスのガイドラインに沿った評価表にて報告するものとする。

* 保護者等からの評価の集計結果、事業所の自己評価結果については、当法人 HP に掲載しておりますので、HP の「お知らせ」からご覧ください。

放課後等デイサービス「楽童ほうば」報告

暑くて長～い夏休みが終わっても、猛暑の中の2学期スタート。いつまで夏が続くのだろうと思いました。徒歩送迎が基本の楽童ほうばも、子どもの命を守ることを考えて、夏休みの前後は、車送迎を行いました。暑い暑い夏をみんなよく乗り切りました。10月は運動会シーズン。6年生は修学旅行にも行ってきました。ようやく秋が深まってきました。

ほうばの夏休みから秋までのご報告です。夏休みは、身体を動かして遊ぶ、座って取り組む、創作(工作・おやつ作り)に取り組むの3本柱でプログラムを作って取り組みました。クッキングは毎日欠かさずやりました。7月末には、防災クッキングも行いました。今年の夏休みは、新しい試みとして「平和学習」をしました。簡単に「しね」と言う言葉を口にする子どもたち、戦争をゲームのように面白がっている子どもたちに、命のことや平和のことをどのように伝えようかと思案していました。小学校低学年にも伝わるように、絵本を使って取り組みってみました。思いのほか、前のめりに絵本の読み聞かせを聞く子どもたちを見て、回数を重ねることで、少しずつ変化してってくれたらと思っています。

2学期が始まり、平日は、予定決め・宿題・設定活動・おやつ・自由遊び・振り返りの平常運転になりました。土曜日は、グループワーク、創作活動、からだほぐし、イベントです。9月のイベントは安全指導、10月はほうば商店を開きました。11月は遠足に行きました。



スイカ割り！



防災クッキング

～からだほぐしの体操～

外部から講師を招いて、からだほぐしの体操を定期的に行っています。身体全体をバランスよく使うことを目標に、楽しみながら体操をしています。

また、コースを作ってサーキット遊びをしたり、小集団遊びをしたり、感覚統合遊具を使って体幹を鍛える遊びをしたりして、暑い中、室内でも身体を動かして遊べるようにしました。9月には、スタッフ手作り、昔懐かし「ツイスターゲーム」をして盛り上がりました。



～グループワーク～

毎月1回、土曜日に行っているグループワークを平日も開催しました。7月末には「権利」についてのグループワーク。熱気球の高度が下がるたびに、何か一つ落とさないといけません。子どもたちは悩み悩み、葛藤しながら落とすものを決めていました。夏休みの最後には、「夏の思い出三大ニュース」を発表しあいました。みんな、ちゃんと前に出て、「ぼくの思い出は」と発表でき



ていました。10月開催の「ほうぶ商店」の内容についても、グループワークで話し合いました。ハロウィンなので、「おばけつり」をやることになりました。10月には、クリスマス会をどんな催しにするか、どんなケーキを作ろうかと話し合いました。模造紙に絵を描いてもらいましたが、美味しそうなケーキになりました。クリスマス会が楽しみです。



～創作活動～

夏休みなので、実験もやってみました。ペットボトルロケットを作りました。近くの公園に行って、飛ばしました。スタッフも驚くほど飛びました。また、酸性・アルカリ性の実験もしました。



自宅ではいろんな材料を使って工作をすることがなかなかできなかったり、段ボールのごみが散らかって困ったりと、子どもが好きに工作をすることが難しいと思います。そこでほうぶでは、家でできないことをやってもらおうと、いろんな材料を使って工作に取り組んでいます。設定的な活動だけではなく、自由に思いついたことを大切にしながら創作活動をしています。夏休みに流行った(?)のは、射的でした。夏祭りの屋台のように、射的やさかなつりを作って遊ぶ子どもたちもいました。スタッフも、子どもに誘われ「1回100円」と言われ、紙で作ったお金を渡されて参加しました。



9月には、ビー玉に絵の具をつけて転がして作る「ビー玉アート」をしました。額も自分たちで作りました。素敵な作品ができました。



～おやつづくり～

「いろんな色のお菓子が作りたい」というリクエストがあったので、いろんな色のクッキーや、いろんな色のお団子や、いろんな色のパンなど、次々と作りました。夏休み中は、ちょっと豪華に、パフェも作りました。



平和学習

8月9日（土）19日（火）

2回に分けて、平和学習に取り組みました。小学校低学年にも伝わるようにと、絵本の読み聞かせをして考えてもらいました。9日は、「ぼくがラーメン食べてるとき」（長谷川義史）の絵本。子どもたちがとても身近に世界を感じられ、前のめりに読み聞かせを聞いて、「隣の」とページがすすむたびに、世界地図を見ながら思い思いに発言していました。19日も「へいわとせんそう」（たにかわしゅんたろう）の絵本を使って取り組みました。絵本を読んだ後、グループに分かれて、平和と戦争について意見を出しあいました。「けんかをしたら、戦争の〇〇、仲直りをした時は平和の〇〇」と自分の体験からの発言も出ていました。回数を重ねて、少しずつでも考える機会となっていけばと思います。



ほうぶ商店

10月25日（土）14：00～15：30 参加者：子ども9名 ボランティア5名
恒例の「ほうぶ商店」ですが、最近、近隣の小学校の利用者が低年齢化してきたこともあり、お友だちを誘ってたくさん子どもたちがやってくるのが少なくなってきました。また、小学校の正門前でチラシを配ることができなくなり、校内で配布していただいたのですが、チ



ラシは保護者が見るよりも、子どもたちの目にとまらなければ効果がありませう。お客さんが少なくて、子どもたちの作品がなかなか売れず、お店番のお仕事も手持ち無沙汰になりました。今後、広報の仕方が課題です。



ピクニック in 天満橋 プライドセンター大阪で学ぶ

11月15日（土）10：00～15：00 参加者：子ども5名 ボランティア3名
地下鉄に乗って、秋の訪れを感じる公園でピクニック。ピクニックの前に、プライドセンター大阪に行き、LGBTQ+について学んできました。土曜参観の学校があり、参加者が少なかったのは残念でしたが、公園で身体を動かして遊んだり散歩をしたり、川沿いで噴水や遊覧船を眺めたりしました。ほうぶに帰ってきてから、プライドセンターで学んだことをみんなで振り返り、その後、ペアになって話をしました。子どもたちが、いろんな人がいて、いろんな思いを抱えていることに気づいてくれたらと思います。誰もが生きやすい社会になることを願っています。



おやこ ひろば ほうぷ

9月7日(日)10:30～11:30 参加者:3組の親子さん
(スタッフ2名 ボランティア1名)

今年度もゆるーくゆったり「おやこひろばほうぷ」を開催しています。まずは音楽タイムから。好きな曲のリクエスト有で、盛り上がりました。珍しい楽器もいろいろなので、いろんな楽器に触る貴重な機会でもあります。後半は、簡単な工作。ペットボトルのキャップを細かにしたものをアイロンで固めキーホルダーを作りました。アイロン係を買って出てくださいましたお父さんもいて、皆で和気あいあいと、楽しい時間を過ごしました。



＜参加者の感想から＞

- ・ 1年ぶりの参加で、大きくなったねと覚えていてくださりうれしかったです。1歳を過ぎて音楽をより楽しめるようになったので楽しい時間でした。
- ・ 音楽が好きなので、楽器に触れられるということで参加させていただきました。最初、緊張していましたが、途中からは楽しそうでした。
- ・ たくさんの曲をリクエストさせていただき、一人ひとりのために曲を弾いてくださり、珍しい楽器にも触れさせてもらったり、貴重な体験でした。楽しい時間をありがとうございました。

ほうぷ よる カフェ

毎月第3金曜日の夜に開催しています。大々的な広報をやめたところ、毎回のように同じメンバーがやってきています。小学校高学年の子たちは、おやつを食べながらおしゃべりしたりボードゲームをしたりしています。中学生たちは、勉強をする子たちがほとんどで、あとはビーズクッションで本を読んでいます。

細々と開催していますが、本当に必要なところに届いているとは思えません。活動の内容も、居場所に来る子どもたちのやりたいことを優先しようと思いますが、なかなか意見も出てきません。勉強をしにくる子たちが居るので、学習支援にと大阪市ボランティア活動振興基金の助成金により iPad の購入をしました。うまく役立てていければと思います。

近隣の小学校にもチラシを渡して、必要なところに届くようにお願いしました。学校や役所を通じてつながってくる子どもたちがいればと思いますが、まだうまくつながっていません。今後どのように展開していくかが課題です。



●法人内の活動報告●

- 8月15日（金） ほうぶよるカフェ
9月8～9日 エルムおおさかペアレントトレーナー養成研修参加
9月12日（金） スタッフ研修会（虐待防止と身体拘束の適正化）
9月16日（火） スタッフ研修会（人権から考える労務管理とハラスメントの基礎知識）
9月19日（金） 消防指導
ほうぶよるカフェ
10月 9日（木） 集団指導（オンライン）
10月17日（金） ほうぶよるカフェ
10月21日（金） 防災の取り組みについて（旭区役所防災安全課）研修参加
10月23日（木） 職員研修（感染症対策の基本と実践）
虐待防止委員会（ほうぶ）
10月31日（金） エルムおおさかペアレントトレーニング（実践見学）

●地域活動等報告●

- 8月18日（月） 牧口さんを語り合う会参加
8月23日（土） 子育て応援セミナー（旭区役所）
9月 6日（土） 地域活動協議会福祉部会（ほうぶ）
9月 9日（火） ブックスタート（ほうぶ）2組
9月12日（金） 旭区地域自立支援協議会 こども部会（旭区役所）
9月17日（水） 旭区地域自立支援協議会 事業所連絡会（児童）（旭区役所）
清水地域子育てネットワーク会議（清水小）
旭区地域自立支援協議会 本会（旭区役所）
10月 4日（土） 子ども情報研究センター理事会
10月17日（金） 子育てワイワイひろばあさひ（旭区民センター）
11月11日（火） ブックスタート（ほうぶ）2組

9月下旬、「国際芸術祭あいち 2025」に行ってきました。娘の所属する劇団「態変」が招かれて、3日間の公演がありました。驚いたことに、まちのあちこちにポスターが掲示されていました。県民の意識が高いのか、自治体が力を入れている証拠か。「態変」の舞台には、愛知県知事が観劇に来られました。

あいち 2025 では、「民族や国籍、人種、皮膚の色、血統や家柄、ジェンダー、セクシャリティ、障がい、疾病、年齢、宗教など、属性を理由として差別する排他的言動や、その根幹にある優生思想（生きるに値しない命があるというあらゆる考え方）を許容せず、この芸術祭が、分断を超えた未来につながる新たな視点や可能性を見出す機会となることを目指します」と宣言されていました。拍手！（む）

